

2023年6月19日
株式会社日立製作所

Microsoft Azure の活用によるデータ利活用機会のさらなる拡大に向けて、 ハイブリッドクラウドソリューションを強化



本ソリューションの概要図

株式会社日立製作所(以下、日立)は、ハイブリッドクラウドソリューション EverFlex from Hitachi(以下、EverFlex)を強化し、日本マイクロソフト株式会社(以下、マイクロソフト)の Microsoft Azure(以下、Azure)に対応したソリューションを、本日より提供開始します。

具体的には、EverFlex において、Azure とシームレスなデータ連携が可能な日立 HCI ソリューションを As a Service で利用できるほか、Azure portal^{*1}から日立 HCI ソリューション、および日立のストレージである Hitachi Virtual Storage Platform(以下、VSP)の一元管理が可能となります。Azure と高速かつ高信頼に接続できるニアクラウドでの利用も可能なため、オンプレミス、Azure、エッジなどを適材適所で活用しつつ、運用管理の負担低減や機密性の高いデータの安全・安心な利活用を可能にするハイブリッドクラウド環境を実現します。

日立は、今後も、EverFlex において、さまざまなパートナーとの協創を強化することで、オンプレミスとクラウド双方のサービスメニューを拡充し、データ利活用の幅を拡げ、データドリブン経営に貢献します。

*1 Azure portal : マイクロソフトが提供する管理ツール

■背景

オンプレミスとクラウドを適材適所で利用し、あらゆるデータを安全かつ自在に利活用することで、さまざまな変化に柔軟かつ迅速に対応できるシステム基盤として、ハイブリッドクラウドへの期待が高まっています。しかし、ハイブリッドクラウドの利用には、オンプレミス、クラウド、エッジなどの複数拠点で稼働する IT リソースの運用管理の煩雑化への対応や、機密性の高いデータでも安全・安心に利活用できる高信頼な環境の整備が課題になっ

ています。このような背景を受け、日立は、ロケーションを意識せず、機密性の高いデータを容易に利活用できるハイブリッドクラウド環境の実現をめざし、世界中で多くの基幹システムを支えてきた日立ストレージの技術や運用ノウハウをクラウド環境へ適用する取り組みを推進するとともに、さまざまなパートナーとの協創を進めています。

■EverFlex の強化内容

(1) EverFlex において Azure に対応し、ハイブリッドクラウド環境における運用管理の負担低減

EverFlex において、Azure 利用に適した性能と信頼性を確保したシステム構成としてマイクロソフトの認定を取得した日立 HCI ソリューション for Azure Stack HCI を、As a Service で利用できます。

同時に、VSP が Azure Arc に対応し、Azure portal から、複数拠点で稼働するリソースとともに VSP を、Azure リソースとして一元的に運用管理できるようになりました。これらにより、業務状況に応じて柔軟かつ迅速にデータ基盤を利用・拡張できるとともに、ハイブリッドクラウド環境の運用管理負担を低減します。

(2) ニアクラウド連携で機密性の高いデータの利活用を実現

高速かつ高信頼にデータ連携できるニアクラウド^{*2} 環境向けサービスを提供します。具体的には、Azure と高速回線で接続されたエクイニクスのデータセンター (Equinix International Business Exchange™ (IBX®)) に、日立 HCI ソリューションや日立ストレージを設置し、As a Service での利用を可能にしました。これらにより、オンプレミス、Azure、エッジを適材適所で利用し、機密性の高いデータでも、安全・安心に利活用できるハイブリッドクラウド環境を実現します。

*2 ニアクラウド：複数のパブリッククラウドに対し、広帯域・低遅延で接続できるデータセンターのこと

■ビジネスパートナーからのエンドースメント

日本マイクロソフト株式会社 執行役員 常務 パートナー事業本部長 浅野 智氏

「日本マイクロソフトは、このたびの日立製作所様のハイブリッドクラウドソリューション EverFlex from Hitachi の強化を心より歓迎いたします。日立製作所様の EverFlex の強化では、より高速で柔軟に拡張可能なハイブリッドクラウド環境を実現します。また、オンプレミス環境とクラウドサービスの利用を一元的に管理でき、セキュリティなど多様なニーズに応じ適切な環境を提供します。

Microsoft Azure 上で稼働するマネージド製品である Azure Open AI Service など自社データと AI を利活用する機会を拡大、顧客企業の DX を加速するものと確信しております。

今後も日本マイクロソフトは、日立製作所様とともに、ハイブリッドクラウドソリューションの提供を通じて顧客企業の DX に貢献してまいります。」

■ハイブリッドクラウドソリューション EverFlex from Hitachi の強化に関する概要

Azure 対応ソリューション	価格(税別)	提供開始時期
EverFlex from Hitachi - 日立従量課金型データ基盤ソリューション	個別見積	6月19日

■EverFlex from Hitachi のホームページ

ハイブリッドクラウドソリューション

https://www.hitachi.co.jp/products/it/everflex/hybrid_cloud.html

■商標注記

- ・Microsoft、Azure、Arc は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・EverFlex は、Hitachi Vantara LLC の商標または登録商標です。
- ・Equinix および IBX は、Equinix, Inc.の登録商標です。International Business Exchange は、Equinix, Inc.の商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の登録商標もしくは商標です。

■日立製作所について

日立は、データとテクノロジーでサステナブルな社会を実現する社会イノベーション事業を推進しています。お客さまの DX を支援する「デジタルシステム&サービス」、エネルギーや鉄道で脱炭素社会の実現に貢献する「グリーンエネルギー&モビリティ」、幅広い産業でプロダクトをデジタルでつなぎソリューションを提供する「コネクティブインダストリーズ」の事業体制のもと、IT や OT(制御・運用技術)、プロダクトを活用する Lumada ソリューションを通じてお客さまや社会の課題を解決します。デジタル、グリーン、イノベーションを原動力に、お客さまとの協創で成長をめざします。2022 年度(2023 年 3 月期)の連結売上収益は 10 兆 8,811 億円、2023 年 3 月末時点で連結子会社は 696 社、全世界で約 32 万人の従業員を擁しています。

詳しくは、日立のウェブサイト(<https://www.hitachi.co.jp/>)をご覧ください

■お問い合わせ先

株式会社日立製作所 クラウドサービスプラットフォームビジネスユニット

お問い合わせフォーム：<https://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR/>

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
